



板橋区立板橋第五中学校 学校だより

常に夢や目標をもち
多様性を尊重し主体的に行動する生徒を育成します

小中一貫学びのエリア：板橋第四小学校・板橋第五中学校



校長 太田繁伸

令和6年度もよろしくお祈いします

令和6年度が始まりました。生徒の皆さん進級・入学おめでとうございます。新しい年度、新入生の皆さんにとっては初めての中学校生活がスタートしましたが、皆さん目標をしっかりとつことができているでしょうか。そしてどのようなことを学校に望み、どのような方法で自分の目標を達成しようとしているのでしょうか。学校はそのような皆さんを全力でサポートし、皆さんの自己実現に向けて一緒に頑張っていこうと教職員一同気持ちを新たにしています。

また、今年度は教員の異動は2名でしたが、今年度から本校で勤務していただく事務をはじめとするいろいろなスタッフや講師の先生が多く、教職員合計で12名の皆さんをお迎えしました。気持ちだけでなくメンバーも新たになりましたので、新しい組織として力を合わせてまいります。

今年度の重点目標

学校改革を開始してから、5年目に突入しました。いろいろな面で随分成果を感じることができるようになってきましたが、それでもまだまだ改善の余地はたくさんあると感じています。特に、上を見ればきりがありませんが、学校ですからこれからの新しい社会を生き抜くための「確かな学力」を生徒たちに身に付けさせることは、第一優先されると考えます。単に知識・技能の習得にとどまらず、自分で課題を見付け、自ら学び、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する資質や能力等をどんどん伸ばしていく必要があります。生徒たちの主体的な行動や他者を思いやる心情などは、順調に育まれています。こういった基礎となる力は育ってきていますので、これを確かな学力に結び付けていきたいと思っています。

読み解く力の育成

板橋区全体で取り組んでいる読み解く力の育成ですが、本校の生徒たちの実態からも、その必要性を感じています。問題文をしっかりと読み解けていないための誤解答や、教科書や資料を読んでも理解できないなど、課題を感じることも多々あります。国語の授業だけでなく、全ての教科で読み解く力を意識して、授業を実践していきます。今年度からは以前から先生たちが使用している、毎時間のチェックシートにも新たに読み解く力の項目を設けました。

毎日ノートの活用

全員に同じ課題を与える宿題ではなく、個別最適化された主体的な学びをサポートするために、本校では毎日ノートと名付けたノートを使い、自分で考えた課題を毎日最低1ページ分は勉強しようという取り組みを行っています。段々と充実してきてはありますが、大きな成果を上げられるよう更に工夫や生徒たちへの意識づけを行い、生徒たちが自分の課題に気付き、その課題を解決するための学習を主体的に行えるようにしていきます。

夢ログの活用

本校では夢ログという、表計算のアプリで作成した生活記録を活用しています。生徒たちに一週間のToDoリストを作成させたり、毎日の振り返りをさせたりしています。計画性を身に付けさせたり、自分の生活を振り返ることにより、自分の課題を発見でき、解決策を考え実践できたりする力を育てていきます。

以上が今年度の重点目標です。各ご家庭での保護者の皆様のご協力をいただくことができれば、予想を上回る成果を上げることも可能と思われれます。ご理解とご協力をお願いいたします。